

## 目 次

1. 広島大学マスタース総会・懇親会のご案内	2
2. 「2025年度事業」の報告	
(1) 2025年度の全ての事業・行事が終了しました（一覧表）	3
(2) ちゅーピーカルチャーセンターに2講師を派遣	4
(3) 2025年度冬期日本語・日本文化特別研修に2講師を派遣	4
(4) 広大マスタース主催講演会（第23回、細野賢治講師）	5
3. 「2026年度事業」のご案内	
(1) 2026年度も広島大学の「平和教育」に参加します	6
(2) 2026年度も東広島市民講座が始まります	7
4. 「会員エッセイ」コーナー	
「マイクロン広島の源流であるNEC誘致の経緯と今後の展開について」	9
5. 会員情報	11
6. 追悼文	
小方 厚 さんの逝去を悼む	11



## 広大マスターズ総会・懇親会のご案内

下記のように、定例総会および懇親会を開催します。

ご参集いただきますようお願い致します。（上 真一）

~~~~~  
2026年度（第21回） 定例総会および懇親会

2026年6月6日（土）

泉ホール（西条駅前 賀茂泉館4階）

東広島市西条本町12-5（TEL:082-424-2088）  
~~~~~

第1部 総会 16:00～17:00（開場 15:30）

次第

代表幹事挨拶／顧問挨拶

2025年度事業活動報告

2025年度会計報告・会計監査報告

役員の改選

2026年度事業計画

2026年度予算

新入会員の紹介 など

第2部 懇親会（新入会員歓迎会を兼ねる） 17:30～20:00

会費 6,000円（2,500円のアルコール及びノンアルコール類代金込み、

前半90分のみ飲み放題）

【追記】前年度に引き続き、泉ホールにおいて総会・懇親会を開催いたします。来賓の方にもご参加いただきます。4月中旬頃参加申込みの案内をメール送信しますので、多くの会員がご参加いただきますようお願いいたします。

## 「2025年度事業」の報告

### (1) 2025年度(令和7年度)の全ての事業・行事が終了しました

各行事・事業の詳細、議事録、報告レポートなどは、  
 広大マスターズHPに記録してあります。ご参照ください。(相田 美砂子)

	時期	事業・行事	開催場所
HM 行事 (総会)	6月	第20回総会 6月7日(土)	居酒屋 しょうの助
HM 行事 (講演会)	9月	第22回マスターズ講演会「世界の半導体の市場の動向とマイクロメモリジャパンについて」 (講師:秋山裕明) 9月13日(土)	広島大学 ミライクリエ
HM 行事 (講演会)	2026 1月	第23回マスターズ講演会 「どうなる?広島のお米~担い手確保の観点から~」(講師:細野賢治) 2026年1月24日(土)	くらら 研修室
HM 行事 (例会)	11月	第32回例会 第15回マスターズ・ウォーキング大会 「白竜湖周辺モミジ狩りコース(2 km)」 11月28日(金)	ホテル白竜湖 リゾート
HM 行事 (例会)	2026 1月	第33回例会 第16回マスターズ・ウォーキング大会 「広大下見コースウォーキング大会」2026年1月25日(日)	広大キャンパス・下見地域
広島大学 (教養教育)	第2 ターム	平和と人間A-環境と生物の未来へ (講義担当)加藤範久, 鳥谷部茂, 松田正典, 室岡義勝, 上 真一, 松田正彦, 岩田賢司, 宮谷真人, 室岡義勝, 被爆体験講話, 加藤範久, 青木孝夫, 斎藤祐見子, 古澤修一, 池田秀雄	広島大学
		平和と人間B-人間と文化の未来へ (講義担当)池田秀雄, 青木孝夫, 鳥谷部茂, 斎藤祐見子, 古澤修一, 松田正典, 松田正彦, 岩田賢司, 被爆体験講話, 原野 昇, 上 真一, 渡部和彦, 川崎信文, 室岡義勝, 池田秀雄	
広島大学 (留学生教育)	夏期・ 冬期	広島大学「令和7年度日本語・日本文化特別研修」 夏期:「日本の絵画-鳥獣戯画の世界」(講師:金田 晋), 「日本の伝統スポーツと礼-武術から武道へ- (剣道の技あり)」(講師:渡部和彦) 冬期:「日本の絵画-鳥獣戯画の世界」(講師:金田 晋), 「日本の伝統スポーツと礼-武術から武道へ- (剣道の演技あり)」(講師:渡部和彦)	広島大学
東広島市 (市民講座)	通年	「東広島を楽しくスケッチしよう(黒瀬町編)」(難波平人) 5月13日(火)・20日(火)・27日(火)・6月3日(火); 作品展:くらら(市民ギャラリー) (7月2日(水)~7日(月))	黒瀬生涯学習 センター
		「大規模災害と被災者支援」(講師:鳥谷部 茂) 6月7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土)	東広島市市民 文化センター
		「小学生のための実践的な将棋講座」(講師:早瀬光司) 7月31日(木)・8月1日(金)・7日(木)・8日(金)	
		「自分史を語る-一学生運動・広島大学の統合移転・自身の研究歴など-」(講師:白浜博幸) 10月4日(土)・18日(土)・25日(土)・11月1日(土)	
		「交通事故の法律問題」(講師:鳥谷部 茂) 2026年2月7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土)	
東広島市 (出前講座) (通年)	通年	「食べ物と健康-健康寿命を延ばす食べ物」(室岡 義勝) 2025年6月18日(水)地域活動支援センターときわ, 11月4日(火)河内町入野鶴亀山老人集会所, 12月1日(月)八本松南, 2026年1月21日(水)黒瀬町丸山黒瀬支所	(左記)
		「大規模災害と被災者支援」(鳥谷部 茂) 2025年6月28日(土)下見地域センター, 6月29日(日)桜坂コミュニティ会館	(左記)
		「小学生のためのおもしろ理科実験」(谷本 能文, 樋高 義昭) 8月4日(月)河内いきいきこどもクラブ, 8月18日(月)八本松みづき認定こども園いきいきこども クラブ, 8月19日(火)アイキッズクラブショージ寺家駅前店, 8月25日(月)放課後等デイサービス スピアステップ黒瀬, 10月14日(火)高屋東地域センター, 11月29日(土)小谷地域センター	(左記)
広島リカレント 学院講座	通年	専門講座:英会話(三浦省五), 健康ウォーク(渡部和彦)	広島市内
		教養講座:渡部 和彦(中・高齢期の体力②「自重負荷筋トレ法&新・ストレッチ体操」), 難波平人(昭和38年頃のひろしま基町相生通りスケッチ展・フィリピンのスケッチ), 鳥谷部 茂(能登半島地震からみた新たな課題), 金田 晋(アンリ・マティス「赤いアトリエ」(1911, ニューヨーク近代美術館蔵)を中心に), 安藤忠男(ジェンダーギャップ解消戦略), 松田正彦(資本主義経済の安定性と不安定性~安定化装置による補完~), 高田 忠彦(~繊維はこんなところにも使われている~繊維補強複合材料のお話), 池田 秀雄(国際協力と最近の世界情勢(2)), 加藤 範久(高齢者の低栄養), 山本義雄(プータンの自然と生き物), 早瀬 光司(古今和歌集に親しむ(第二部)~古今和歌集の中から、恋の歌を詠み解く~和歌を創ってみる?), 斎藤祐見子(食欲のスイッチを繰る-脳科学への招待), 保坂 幸男(身の回りの著作権問題~誰もが知っておく必要が~), 塚本 俊明(広島県の都市計画の話), 牟田 泰三(紫式部日記)	
ちゅーピーカルチャーセンター	前期・ 後期	前期:「水彩・油絵」(難波 平人), 「美術を読む-19~20世紀転換期の美術革命」(金田 晋) 後期:「水彩・油絵」(難波 平人), 「美術を読む-19~20世紀転換期の美術革命」(金田 晋)	東広島市内

## (2) ちゅーピーカルチャーセンター講座に2講師派遣

広大マスターズ幹事 金田 晋

2025年度中も2講師派遣(継続)。

難波平人会員「水彩・油絵」(毎月第2金曜日)

金田晋会員「美術を読むー19~20世紀転換期の美術革命」(毎月第2・第4金曜日)

難波教室は受講者14名(2026年2月10日現在)。受講者は教室で描いた作品を自宅に持ち帰り完成させ、来年度開催の「東広島を楽しくスケッチしよう」展※に出展します。

金田教室は受講者10名(2026年2月10日現在)。世界の近・現代美術を比較美学的に講義しました。特に日本ではピカソにくらべると比較的に人気度の低いアンリ・マチスについて色彩学の面から、またそのテーマの面から詳しく論じました。「絵を読む」をつづけています。

※「東広島をたのしくスケッチしよう」は東広島市民講座(東広島市教育委員会主催)の一つとして難波会員が講師を務める講座の名であり、この講座参加者に本ちゅーピー講座受講者が加わり、例年東広島芸術文化ホール「くらら」で「東広島をたのしくスケッチしよう」展(広大マスターズ主催)を開催しています。

## (3) 2025年度冬期日本語・日本文化特別研修に2講師を派遣

広大マスターズ幹事 金田 晋

2025年度冬期は中国クラスと非漢字圏クラスの2クラスを開きました(台湾クラスは冬季開きませんでした)。

金田晋講師「日本の絵画ー鳥獣戯画の世界」。

渡部和彦会員「日本の伝統スポーツと礼ー武術から武道へ(剣道の演技あり)」。

受講者数は中国クラス9名、非漢字圏29名。金田講師は両クラスに、渡部講師は非漢字圏クラスだけに出講しました。後者の内訳は、イタリア2名、インドネシア8名、キルギス7名、スリランカ1名、タイ1名、ロシア2名、韓国8名でした。受講者はいずれも各自の国の大学にある日本語日本文化の関係学部あるいは学科に在籍していて、非漢字圏であっても相当の漢字理解能力をもっていました。日本文化が世界に広がっていることは心強い。

また、国によって大学での講義への受講態度が異なっていて、講義中でも質問のため手をあげてくるなど、面白い体験ができます。日本の学生も学ぶべきです。

#### (4) 第23回広大マスターズ主催講演会

『どうなる？広島のお米～担い手確保の観点から～』 開催報告

広大マスターズ幹事 上 真一

2025年の急激な米価の高騰は所謂「令和の米騒動」を引き起こした。その騒動はいまだに終わる気配を見せない。その最中、標記講演会が2026年1月24日(土)15時～16時45分、東広島芸術文化ホールくらら研修室において、広島大学大学院統合生命科学研究科の細野賢治教授を講師として行われた。参加者は35名であった。



- まず講師から、日本の農業、特に米作の動向について説明があった。それらを要約すると、
- 1) 農業従事者は一方的に減少を続けており、2025年の従事者数は102万人であり、しかも65歳以上の高齢者の占める割合が約70%である。
  - 2) 2023年のカロリーベースでの日本の総合食料自給率は38%、ただし米の自給率だけは100%である。
  - 3) 米の価格と流通は、1995年までは食糧管理法により国の管理下に置かれていたが、2004年以降は食糧法により備蓄米以外は民間業者が扱うようになり、現在に至っている。
  - 4) 稲作経営の収支は水田面積に依存し、面積3ha未満の小規模農家は平均的には赤字経営で、それ以上の広い面積を有する大規模農家は黒字経営である。
  - 5) 日本の食糧生産を支える構造は、安定供給の観点において極めて脆弱である。

続いて、広島県の農業や稲作経営についての説明があり、他地域(県)に比較すると厳しい実情にあることが指摘された。その理由として、

- 1) 農業従事者の平均年齢が72.1歳と、高齢化が進んでいること、
- 2) 中山間地域の占める割合が90.0%と高く、大型農業機械の導入などが困難であること、
- 3) 農家当たりの耕地面積が1.5haと狭いこと、

などがあげられた。このような厳しい状況下でありながら、先進的な取り組みをしている2つの農業法人が紹介された。一つは世羅町にある法人で、従業員13名の平均年齢は35.7歳と若く、各人の得意技術を組み合わせた作業工程を構築し、稲作、畑作経営を行っている。もう一つは、東広島市豊栄町にある法人で、農機関連メーカーのサタケが共同出資しているのが特徴で、ここでは稲作、畑作、果樹栽培、養鶏などが行われている。これらの法人による成功例は、工夫次第では、農業は若者にとっても魅力ある職業であることを示している。

さて、米騒動を引き起こした米価高騰の原因であるが、実態は依然として不明点があるものの、「最近流通機構の中で力を持ち始めたスーパーなどの小売業者による思惑買いが関係している可能性が高い」と講師は指摘した。「米価が高いままだと、いずれ消費者は国産米の購入を控えて、安価な輸入米に走る可能性がある。そうなれば、米価が暴落し、米農家にも悪影響を与える可能性がある」と危惧していた。農家にも消費者にも適正な価格に落ち着くことを期待する。



講演後には活発な質疑応答が展開され、参加者の米問題に対する関心が高いことを表していた。

## 「2026年度事業」のご案内

### (1) 2026年度(令和8年度)も広島大学の「平和教育」に参加します

広大マスタース幹事 池田 秀雄

広島大学では、2011年度から平和科目(選択必修、2単位)を開設しており、広大マスターズはこの平和科目群に、2026年度も「平和と人間A」、「平和と人間B」の2科目を提供します。

これらの2科目は昨年と同様いずれも第2ターム(6月10日~7月29日)の月曜日に開講されます。「平和と人間A」が1・2および3・4時限、「平和と人間B」が5・6および7・8時限の開講となります。

平和と人間A—環境と生物の未来へ(主担当:古澤修一・元統合生命科学研究科)

第1回 ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介(加藤範久・元生物圏科学研究科)

第2回 特殊詐欺の誘惑と恐怖(鳥谷部茂・元社会科学研究所)

第3回 核エネルギーと調和する社会(杉立・徹・元理学研究科)

第4回 地球環境・食糧問題への新たな潮流(室岡義勝・元工学部)

第5回 絶海の孤島で起こった環境破壊と社会崩壊:モアイ像は何を見たか?

(上 真一・元生物圏科学研究科)

第6回 資本主義経済の安定性と不安定性(松田正彦・元社会科学研究所)

第7回 平和と国際政治(岩田賢司・元国際協力研究科)

第8回 認知的多様性(宮谷真人・元人間社会科学研究所)

第9回 ゲノム工学と生命倫理(室岡義勝・元工学部)

第10回 平和VTR視聴・議論(古澤修一・元統合生命科学研究科)

第11回 貧困と健康:薬物依存がもたらす影響とその対策(斎藤祐見子・元統合生命科学研究科)

第12回 芸術を通して見る「平和/戦争と人間」について(青木孝夫・元総合科学研究科)

第13回 貧困と栄養(加藤範久・元生物圏科学研究科)

第14回 国際協力の過去と未来(池田秀雄・元国際協力研究科)

第15回 貧困と感染症(古澤修一・元統合生命科学研究科)

平和と人間B—人間と文化の未来へ(主担当:池田秀雄・元国際協力研究科)

第1回 ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介(池田秀雄・元国際協力研究科)

第2回 芸術を通して見る「平和/戦争と人間」について(青木孝夫・元総合科学研究科)

第3回 特殊詐欺の誘惑と恐怖(鳥谷部茂・元社会科学研究所)

第4回 貧困と健康:薬物依存がもたらす影響とその対策(斎藤祐見子・元統合生命科学研究科)

第5回 貧困と感染症(古澤修一・元統合生命科学研究科)

第6回 核エネルギーと調和する社会(杉立徹・元理学研究科)

第7回 資本主義経済の安定性と不安定性(松田正彦・元社会科学研究所)

第8回 平和と国際政治(岩田賢司・元国際協力研究科)

第9回 平和VTR視聴・議論(池田秀雄・元国際協力研究科)

第10回 原子爆弾と原子力発電(高島敏郎・元先端物質科学研究科)

第11回 絶海の孤島で起こった環境破壊と社会崩壊:モアイ像は何を見たか?

(上 真一・元生物圏科学研究科)

第12回 平和とスポーツの祭典・オリンピック(渡部和彦・元教育学研究科)

第13回 国民国家とその争点:フランスを事例として(川崎信文・元社会科学研究所(法学部))

第14回 バイオテクノロジーとAIが地球を救う(室岡義勝・元工学部)

第15回 国際協力の過去と未来(池田秀雄・元国際協力研究科)

## (2) 2026年度も東広島市民講座が始まります

広大マスターズ幹事 三浦 省五

主催：東広島市教育委員会

共催：広島大学マスターズ

### (1) 「東広島を楽しくスケッチしよう（八本松町編）」（講師：難波 平人）

講座の概要：スケッチの際の構図の決め方、着彩の要領、空間や明暗表現などを研究しながら、風情のある八本松町の二ヶ所を楽しくスケッチします。雨天の時は八本松地域センターで、各自の持参した写真を参考にして描きます。各自が道具を持参のこと。

開講時期：5月12日（火）・19日（火）・26日（火）・6月2日（火）（全4回）

いずれも 13：30～15：00

スケッチ場所：東広島市八本松地域センター周辺

集合場所：東広島市八本松地域センター（八本松南2丁目1-1 TEL:082-428-3061）

募集人数：30名（抽選）

画材：スケッチブック6号以上、鉛筆2B程度、水彩道具一式（アクリル、油絵の具も可）等を持参して下さい。

### (2) 「大規模災害と法的責任」（講師：鳥谷部 茂）

講座の概要：大規模災害の各論を対象とします。依然として解決されずに被災者の負担が継続しているか、又は新たに発生した被災者の生死に関わる問題です。

- ①福島原発事故と損害賠償責任
- ②自然災害と二重債務問題
- ③能登半島地震と既存不適格建物の倒壊
- ④災害関連死の防止

定員：20名（抽選）

開講時期：2026年6月の第1週から第4週の土曜日（全4回10：00～11：30）

6月6日（土）・13日（土）・20日（土）・27日（土）

会場：市民文化センター・展示コーナー

### (3) 「小学生のための実践的な将棋講座」（講師：早瀬 光司（日本将棋連盟：五段））

講座の趣旨：将棋の未知の局面において、指す手を自分で考え出すことに習熟することによって、誰でも、自分の日常生活で出会う未知の場面において、自分で方針を考え、為すべきことを考え出せるようになる、そういう実力（即ち、実践力）を身につけることを趣旨とします。

開講日時：夏休み期間の7月30日（木）・7月31日（金）・8月6日（木）・7日（金）

（全4回 13：30～15：00）

定員：10名以内（多数の場合は抽選による）

会場：市民文化センター・研修室3

(4) 「地球環境汚染改善に必要不可欠な生分解性プラスチックの研究開発」(講師：白浜 博幸)

講座の概要：軽くて丈夫で腐らないという長所から、ポリエチレンなど石油由来の合成プラスチックが盛んに利用されてきた。しかし、この長所ゆえに地球環境下、特に海洋中では分解されず、マイクロプラスチックとして存在し、それを魚などの海洋生物が食し、亡くなるなど深刻な被害が観察されてきた。本講座では、これら地球環境汚染等を改善するための一つの解決策として、生分解性プラスチックの研究開発について解説したい。

定員：20名(抽選)

開講時期：10月3日(土)・17日(土)・24日(土)・11月7日(土)(全4回)

いずれも10:30~12:00

会場：市民文化センター・展示コーナー

(5) 「交通事故と慰謝料」(講師：鳥谷部 茂)

講座の概要：交通事故問題の各論を対象とします。一般の人身損害と異なり精神的苦痛に対する賠償である慰謝料を、後遺症がない慰謝料、後遺症がある慰謝料、ペットや居住の侵害に対する慰謝料等について検討します。

① 入院・通院慰謝料

② 後遺障害慰謝料

③ ペットと慰謝料

④ 物損と慰謝

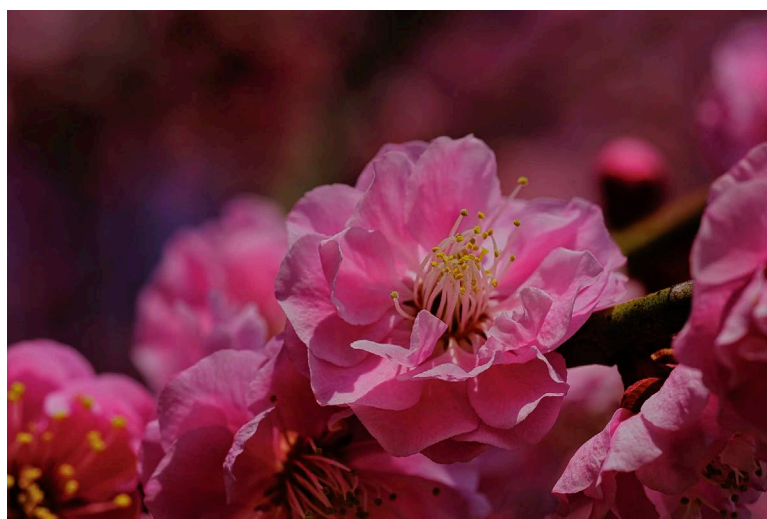
定員：20名(抽選)

開講時期：2027年2月6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)

(全4回 10:00~11:30)

会場：市民文化センター・展示コーナー

※問合せ・申込み先：東広島市教育文化振興事業団 学び推進課(電話 082-421-1160)



マイクロン広島の源流である NEC 誘致の経緯と今後の展開について

広大マスターズ会員（幹事） 菅川 健二

昨年（2025年）9月、本会主催の「世界の半導体の市場の動向とマイクロンメモリジャパンについて」同社の秋山祐明ディレクターの講演会が行われたが、その際、同社の源流にあたる NEC 誘致の経緯についての質問が出された。丁度その当時私は広島県の担当部長として従事していたので、その当時を振り返り、NECの動向をも踏まえ、それにお答えしたい。また、現状のマイクロン広島を取り巻く今後の動向についても私見を述べて議論に供したい。

その当時といえ、今から約40年前の1980年代で、我が国の高度成長も終わり、安定成長期を迎え、本県経済も従来の自動車、造船、鉄鋼、石油化学等の重化学工業中心の産業構造から、電子産業等軽薄短小産業を含む多角化、高度化を推進する必要性に迫られた。その際、「県勢活性化のための推進方策」（1983年3月）を策定し、活性化の主要な戦略として、「技術立県と産業拠点の分散配置」が挙げられた。その最も重要な産業拠点として、広島大学を核とする学術研究機関の集積と地域産業の先端技術化を進める東広島を中心とする広島中央地域にテクノポリスを建設することとし、民間企業の試験研究機関の立地促進と周辺に工業団地を造成し、先端技術産業を導入することとした。その具体的な施策の一環として八本松町に吉川工業団地を造成し、エレクトロニクス等先端技術産業を誘致することとした。その際、県内の関連企業の協力を得て、当時、国内最大の半導体企業であった NEC の誘致に成功したのである。

NEC は、東広島市に進出した理由として、次の4点を挙げている。（1983年7月プレスリリース）

- (1) テクノポリス構想の実現を図る広島県が先端技術産業の誘致に積極的であり、当社の進出に関してもきわめて協力的な姿勢が打ち出されたこと。
- (2) IC工場に不可欠な用水、電力、排水等の産業基盤について、市当局からも万全の協力が約束されたこと。
- (3) エレクトロニクス産業の進出が少ないため、良質な労働力の確保が比較的容易であること。特に近接地域に広島大学工学部の移転が完了していることなどから優秀な技術者の採用が期待できること。
- (4) 近接地域に新空港の開設が予定され、また山陽自動車道にも近いため、材料、製品などの輸送を円滑に行うことができること。

以上のように、NEC 進出に当たり、広島県や東広島市が如何に強く要請し、その条件整備に努力したかを伺うことができるのである。

1988年、NECは東広島市に子会社「広島日本電気株式会社」を設立し、次世代半導体の生産を開始したのである。

その後、世界をリードしていた日本の半導体産業は、アメリカの巻き返しと韓国・台湾勢の台頭によりシェアを低下し、広島日本電気もその影響を受け、(株)日立製作所との共同出資による広島エルピーダメモリー(株)を経て、2013年にアメリカの世界有数の半導体産業であるマイクロンに買収され、今日に至っている。経営形態は変わったが、事業基盤は引き継がれているのは、幸いなことである。

このたびマイクロン広島が新しい製造棟を建設し、主に人工知能（A I）向け半導体の製造を強化することとなり、投資額は、1兆5千億円以上、国の補助額は最大5千億円に及ぶという。地元としては、大変嬉しいニュースである。また、周辺では、東広島市が新産業団地を整備することを決定し、今春には、近接のゴルフ場が閉鎖され、その跡地利用が注目されている。

この際、マイクロン広島を核に周辺一帯をサイエンスパークとして構築することを提案するものである。

今や半導体は産業のコメといわれていた時代から人工知能（AI）の時代の文明のエンジンとなっており、国家の最重要戦略分野とされている。

すでに台湾の TSMC の立地を進めている熊本県では、「サイエンスパーク推進ビジョン」を策定し、半導体関連産業や研究機関の誘致を進めている。ラピダスの整備を進めている北海道にも同様の動きがある。

幸い、本市では、すでに企業誘致、産学連携、研究機関の整備等テクノポリス建設が順調に展開されており、他の地域に比べ、むしろ優位な条件を備えているが、AIの時代に向けて、サイエンスパークはテクノポリスのバージョンアップの基幹となるものと位置付けたい。

具体的には、ビジョンの策定、用地や電力、工業用水の確保等産業基盤の整備、戦略分野の企業誘致（マイクロンの関連企業、半導体の活用企業等）、大学等による人材養成等が挙げられる。

このたび、国においては、今特別国会冒頭の高市首相の施政方針演説において各地に産業クラスターを戦略的に形成することを表明され、また、人工知能基本計画等を策定し、地方におけるAI関連産業の立地促進を図ることとされているが、県や東広島市においては、中長期的な展望に立ったビジョンを策定し、地元の経済界、大学や研究機関との連携のもとに実行して、全国有数のAI基盤を創造する都市として発展することを期待したい。

この際、広島大学においても、半導体産業技術研究所やせとうち半導体コンソーシアム等産学官連携により、学生のみならず社会人の育成と先端研究に取り組み、今後の半導体産業の発展に貢献することを願うものである。



## 会員情報

広大マスターズ幹事 岩田 賢司

### 新入会員について

2025年度(9月以降)に下記1名の新入会がありました。

・岩永 誠 氏 (元人間社会科学研究科・総合科学部 2025年退職)

### 訃報

下記の会員の訃報が寄せられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

小方 厚 会員 (元幹事) (先端物質科学研究科 2005年退職) 2026年1月11日ご逝去

## 追悼文

### 小方 厚 さんの逝去を悼む

広大マスターズ幹事 高島 敏郎

本年1月11日に小方厚さんが逝去された。享年84歳。

小方さんは1941年東京生まれの江戸っ子で、都立戸山高等学校を卒業し、東京大学の赤門をくぐった。1969年に東京大学大学院工学研究科原子力工学専攻で工学博士の学位を取得後、直ちに名古屋大学プラズマ研究所に就職、1975年日本原子力研究所、1982年高エネルギー加速器研究機構を経て、1998年に広島大学に着任し、2005年3月に定年退職した。広島大学では大学院先端物質科学研究科の発足に伴って新設されたビーム物理学研究室の教授として、後進の指導に当たった。定年退職後もビーム物理の研究を継続し、「レーザーとプラズマと粒子ビーム」(大阪大学出版会2012年)などを出版しただけでなく、もう一つの専門である「周波数解析による音楽の研究」の成果を「音律と音階の科学—ドレミ…はどのようにして生まれたか」(講談社ブルーバックス、2007年初版2018年改訂版)として上梓した。

広島大学マスターズ会員として、小方さんは「音律と音階の科学」と「ビブラフォンによるジャズ演奏」を活かして講演された。担当した講座には例えば、TSS文化大学「ドレミの科学、ネットで見て聴くドレミ」、東広島市民講座「いろいろな視点からからのジャズ」、広島リカレント学院「音律と音階、ジャズの楽しみ、音楽と物理学」などがある。小方さんの趣味は幅広く、特にCDケース絵を得意とし、順子夫人との二人展を広島市などで開催してきた。

ここから、小方さんへの私の個人的な思い出を述べる。2000年12月、彼が新居を白市に建てたとき、housewarming partyに招待してもらった。その際、彼が顧問を務めている広島大学ジャズ研の学生と一緒にビブラフォンを演奏するのを聴いた。私はジャズを解せず、専門分野も異なるので、その後交流する機会はほとんど無かった。実際、彼のジャズ演奏を再び聴くことも彼の著作を読むことも無かった。ところが、数年前に彼のブログ「Sixteen Tonesの日記」がFacebookに出ていることに気づいて、毎日その日記を読んでは、彼の自由でやんちゃな生き様に感銘を受けた。正月の書初めから年越しの料理までに関する彼の博覧強記と批判精神には驚かされた。若い頃を振り返る時には、自分のことを「大学闘争逃走分子」と形容した。

転機は2022年末に大腸がんが見つかった時であり、「来年は終活に励むことにしよう」と記している。2023年7月に腸閉塞で初めて救急搬送された後、再発を繰り返した。それでも、その病状の時間変化をグラフにして、まるで天気予報の様に解説したり、便のパウチケースをCDケースと見立てて描いたり、多彩な才能を発揮していた。本年1月10日のブログには、当日夕方本人がビブラフォンを演ずるジャズ演奏会のプログラム（東広島芸術文化ホールくららサロンホール）に添えて、「夜はパーティ、ジャズ@我が家の予定」と記載してある。これが小方さんの最後のブログ記事となり、最後の演奏になると、だれが予想したであろうか。1月14日の葬儀において、ジャズ研のOB・OGが葬送の曲を演奏し、参列者の涙腺を刺激した。



(写真は広島大学マスターズ HP の会員紹介欄より)

**【広島大学マスターズ事務局】**

(郵便物宛先) 〒739-8601 東広島市西条栄町 8-29

東広島市市民協働センター内 メールボックス No.5 「広大マスターズ」

Eメール：[masters@hiroshima-u.ac.jp](mailto:masters@hiroshima-u.ac.jp)

独自 HP URL：<https://masters.hiroshima-u.ac.jp>

